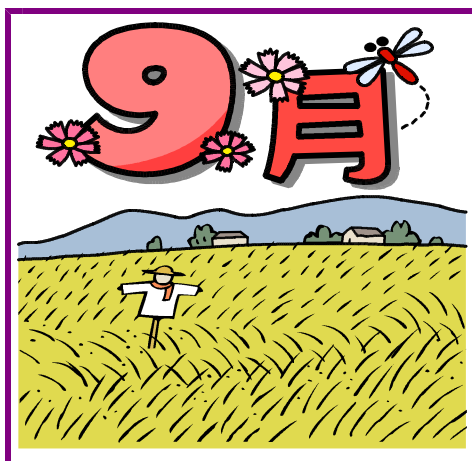


# めぐみイエス・キリスト教会

2021年9月26日(日)第四主日礼拝  
週報「通算第576号」



## 2021年標題聖句

ヨハネの福音書20章21節～22節

《イエスは再び彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父が私を遣わされように、私もあなたがたを遣わします。」こう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。』》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌21「輝く日を仰ぐ時」 p. 28

【交読文】 No.11詩篇第32篇 p. 887

【賛美Ⅱ】 新聖歌176「イエスは汝を呼び給う」 p. 254

【使徒信条】 【主の祈り】 【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.15「野に咲く花も空の鳥も」

【聖書朗読】 使徒の働き12章4節～12節(新約p. 258上段)

【礼拝説教】 《シモン・ペテロの解放》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

### ●ポイント1. 「牢からの脱出の最初の奇跡」とは？

#### ※使徒の働き5章17節～25節「十二使徒全員の捕縛」(新約p.241下段)

5:17 そこで、大祭司とその仲間たち、すなわちサドカイ派の者たちはみな、ねたみに燃えて立ち上がり、

5:18 使徒たちに手をかけて捕らえ、彼らを公の留置場に入れた。

5:19 ところが、夜、主の使いが牢の戸を開け、彼らを連れ出し、

5:20 「行って宮の中に立ち、人々にこのいのちの言葉をすべて語りなさい」と言った。

5:21 彼らはこれを聞くと、夜明けごろ宮に入って教え始めた。一方、大祭司とその仲間たちは集まって、最高法院、すなわちイスラエルの子らの全長老会を召集し、使徒たちを引き出して来させるために、人を牢獄に遣わした。

5:22 ところが、下役たちが行ってみると、牢の中に彼らはいなかった。それで引き返して、こう報告した。

5:23 「牢獄は完全に鍵がかかっている、番人たちが戸口に立っていました。しかし、開けてみると、中にはだれもいませんでした。」

5:24 宮の守衛長や祭司長たちは、この言葉を聞くと、いったいどうなることかと、使徒たちのことで当惑した。

5:25 そこへ、ある人がやって来て、「ご覧ください。あなたがたが牢に入れた者たちが、宮の中に立って人々を教えています」と告げた。

## ●ポイント2.「マルコと呼ばれているヨハネの母マリアの家」とは？

### ※マルコの福音書14章12節～15節「過越の食事の準備」(新約p.98上段)

14:12 種なしパンの祭りの最初の日、すなわち、過越の子羊を屠る日、弟子たちはイエスに言った。「過越の食事ができるように、私たちは、どこへ行って用意をしましょうか。」

14:13 イエスは、こう言って弟子のうち二人を遣わされた。「都に入りなさい。すると、水がめを運んでいる人に出会います。その人について行きなさい。

14:14 そして、彼が入って行く家の主人に、『弟子たちと一緒に過越の食事をする、私の客間はどこかと先生が言っております』と言いなさい。

14:15 すると、その主人自ら、席が整えられて用意のできた二階の大広間を見せてくれます。そこで私たちのために用意をしなさい。」

### ※使徒の働き2章13節～14節「泊まっている屋上の家」(新約p.232下段)

1:13 彼らは町に入ると、泊まっている屋上の部屋に上がった。この人たちは、ペテロとヨハネとヤコブとアンデレ、ピリポとトマス、バルトロマイとマタイ、アルパヨの子ヤコブと熱心党员シモンとヤコブの子ユダであった。

1:14 彼らはみな、女たちとイエスの母マリア、およびイエスの兄弟たちと共に、いつも心を一つにして祈っていた。

## ●ポイント3.「教会は熱心に祈っていた」ことは？

### ※エペソ人への手紙6章18節「使徒パウロの勧めから」(新約p.392下段)

6:18 あらゆる祈りと願いによって、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのために、目を覚ましていて、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くして祈りなさい。

## ◎先週のメッセージの概要【ヤコブの殉教とペテロの監禁】

《使徒の働き11章と12章の記事との間に挿入された、「使徒ヤコブの殉教とペテロの奇跡的な解放」の記事は、実は前後が逆転しており、世界的大飢饉の少なくとも4年以上も前の出来事になります。よって、「その頃」とは、バルナバがアンティオキアに遣わされた頃になるかと思われます。

ここに登場するヘロデ王とは、ヘロデ大王の孫で、ヘロデ・アンティパスの甥っ子、ヘロデ・アグリッパを指します。アグリッパは、カイザルに愛され、カリグラが紀元37年に即位した時に、ピリポとルサニアの領土を与えられ、紀元39年にアンティパスの死によって、その所領を受け継ぎ、さらにクラウディオが即位した時に、ユダヤとサマリアも与えられ、事実上ユダヤ全土の支配者になります。アグリッパは、懸命にユダヤ民衆の人気を獲得することを常に心掛けていました。さて、エルサレムに在住するユダヤ人と最高議会は、エルサレム初代教会と使徒たちに対して、強い反感を抱いていました。その事実を、アグリッパは見逃しませんでした。

最初の迫害の犠牲者は、使徒ヤコブです。実は、これは主イエスの預言の成就でもありました。主が、三回目の受難予告をされた時、叔母サロメが、息子のヤコブとヨハネを連れて、主に願い出たことがありました。「私のこの二人の息子があなたの御国で、一人はあなたの右に、一人は左に座れるように、お言葉を下さい。」「あなたがたは自分が何を求めているのか分かっていません。私が飲もうとしている杯を飲むことができますか。」「できます。」「あなたがたは私の杯を飲むことになります。」

この預言が成就しました。さて、使徒ヤコブの死は、多くのユダヤ人たちに歓迎され喜ばれます。この事に気を良くしたアグリッパは、教会の指導者シモン・ペテロをも捕らえることに成功します。しかもそれは過越の祭の前でした。主イエスと同じように、ゴルゴタの丘に、十字架に掲げる為にです。しかし、ペテロは奇跡的に救出されます。大切な真理とは、主イエスこそが、ご自身を信じ従う者の命を握っておられると言う事です。》

## ◎お知らせ

※10月の第一主日礼拝は、平常通り10月3日(日)午前10時から行ないません。聖書勉強会・祈り会は、9月29日(水)各家庭において行ないます。